

令和6年度 中央区運営方針の自己評価

繰り返し訪れたくなる“にぎわい”のまち
ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち
中央区



大阪市 中央区将来ビジョン2023-2027

中央区将来ビジョン2023-2027

ゆめちゅうおうEXPO



いっしょに、いこな！
2025年大阪・関西万博

令和7年5月29日

大阪市中心区役所

1 運営方針の策定について

「運営方針」は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要を示すものです。

企業活動などで使われる「戦略計画」（経営戦略）の考え方を行政に取り入れたもので、「部門ごとに、自らのミッション（使命・役割）を認識した上で、現状分析や将来予測などを踏まえ、めざすべき状態の実現に向けて解決すべき課題が何かを明らかにし、課題を解決するための効果的な方策を練り、その方策に即した具体的な行動を明らかにする。」という計画で、事業の実施によってめざす成果（状態の変化）の目標を測定可能な指標を用いて設定し、定期的に測定することで、達成状況をチェックし、フィードバックすることにより、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるPDCAサイクルの徹底を狙いとしています。

2 運営方針の自己評価について

策定した運営方針については、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるため、自己評価（年度末振り返り）を実施します。

運営方針において設定している目標の達成状況等について自己点検・評価（Check）を行うことによって施策・事業の改善・見直しを行い（Action）、当該年度の運営方針の改定や次年度の運営方針の策定、予算編成等に反映させること（Plan）につなげることを意図しています。

年度末時点の成果の達成状況を客観的に自己評価する年度末振り返りは、施策・事業のスパイラルアップに向けた実効性のあるPDCAサイクルを推進するための重要なプロセスです。

3 PDCAサイクルの徹底について

PDCAは、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の頭文字で、下記のように、PDCAという4つのプロセスからなる活動のサイクルを繰り返し、改善を継続していくための手法が、PDCAサイクルと呼ばれています。

このPDCAサイクルを回し続けることで、継続的に施策・事業の改善に取り組み、向上を図ります。

- ① P l a n（計画）：目標を設定し、達成のための具体的な行動計画をたてる
- ② D o（実行）：計画に沿って行動する
- ③ C h e c k（評価）：成果を測定し、評価する
- ④ A c t i o n（改善）：必要に応じて具体的な行動の修正や変更などの改善処置をとる

令和6年度 中央区運営方針の自己評価	
「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「大阪を代表するビジネス・観光の拠点として多くの人で“にぎわい”繰り返し訪れたい魅力的なまち」「豊かなコミュニティのもと“ふれあい”支え合う、ずっと暮らし続けたいまち」の実現
使命	"にぎわい"と"ふれあい"あふれるまちづくりを推進するため、次の使命を担う ・職員の福祉マインドを強化し、区民に寄り添い、気かけ、気づき、必要な支援につなげる ・区民に生活の質向上を感じてもらえるよう、ICTを活用し行政サービスの利便性を高める ・戦略的な情報発信により、必要な時に必要な情報を区民に届ける ・公民連携して協働することにより、地域住民、商店会、企業・団体、大学等それぞれの持つ力を生かす
令和6年度所属運営の基本的な考え方	価値観の多様化やマンション等共同住宅の居住者が9割を超える当区の特性をふまえ、マンションコミュニティと、行政、地域コミュニティが、より柔軟に“ゆるやかにつながるまちづくり”を各経営課題共通の基本方針とする。住民同士のセーフティネットの構築をめざし、令和6年度には、マンションでの防災対策の必要性がより強く伝わるよう、戦略的に情報発信し、「防災を切り口」にしたアプローチに着実に取り組む。加えて、「子育て」や「高齢者」などのテーマについても出前講座や出張相談等の開催事例を増やすことで、マンションと行政とがつながる入口を広げ、マンションコミュニティを醸成し、地域社会とのゆるやかなつながりを進めていく。
自己評価	中央区がめざす“ゆるやかにつながるまちづくり”の実現に向けて設定した「アウトカム指標」（経営課題の進捗度合を示した指標）は、7項目全てにおいて目標を達成しており、めざす姿の実現に向けて着実に進捗しているものと評価する。
今後の方針	1 私たちがめざす将来像 ・世界中の人たちが、繰り返し訪れたい“にぎわい”のまち ・つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち 2 基本方針 “ゆるやかにつながるまち” マンション等共同住宅の居住者が9割を超える中央区の特性をふまえ、住民同士のセーフティネットの構築にもつながるよう、それぞれのマンション住民・管理組合・管理会社（マンションコミュニティ）と、行政、地域コミュニティがゆるやかにつながり連携する“ゆるやかにつながるまち”を各施策共通の考え方とし、めざす将来像の実現に取り組む。

各経営課題の令和6年度の振り返り								
【経営課題1】 繰り返し訪れたいくなるにぎわいのあるまちづくり								
1-1 にぎわい	6年度予算額	24,877千円						
■ 課題認識 コロナ禍のダメージからまちに活気が戻りつつある。まちのにぎわいづくりに取り組む商店会、企業、関係団体等と連携・協働し、2025大阪・関西万博のその先をも見据え、地域が活性化し、持続的にまちがにぎわうよう取り組んでいく必要がある。								
■ 主な戦略(課題解決の方策) 多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり ・ 行政機関と商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、内外から多くの人々が「繰り返し訪れたいくなる」魅力を創出する。 ・ 2025大阪・関西万博の開催機運の高まりとも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を戦略的に発信していく。								
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標） 中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信するまちの魅力情報発信コンテンツの閲覧数：令和5年度実績以上（465,487件：令和5年度実績）								
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価） <table> <tr> <th>6年度実績と達成状況</th><th>※A：達成 B：未達成</th><th>5年度実績</th></tr> <tr> <td>上記コンテンツの閲覧数：591,922件</td><td>A</td><td>465,487件</td></tr> </table>			6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績	上記コンテンツの閲覧数：591,922件	A	465,487件
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績						
上記コンテンツの閲覧数：591,922件	A	465,487件						



中央区にぎわい発見サイト「大阪中心」。区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信するインターネットサイトです。



7月20日(土)、21日(日)になんば広場(仮称)で「にぎわいスクエア」を「大阪ミナミ夏祭り」と同時開催！中央区の夏のイベントとして多くの来場者でにぎわいました。

各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題2】 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり（その1）		
2-1 防災	6年度予算額	2,305千円
■ 課題認識		
マンション居住者の多い当区の特性に応じた具体の防災行動につながるよう、さらなる普及啓発が必要である。特に、地域と関わりの薄いマンション居住層へのアプローチ手法を新たに構築する必要がある。 中央区は大阪市で最も昼間人口が多く、昼間に大規模災害が発生した場合には多くの人が帰宅困難になることが想定されている。		
■ 主な戦略（課題解決の方策）		
「マンション防災」を軸とした災害に強いまちづくり ・従来からの地域防災組織への支援を継続するとともに、マンション居住者向けの講演会やワークショップなどマンション固有の防災対策の必要性を普及啓発する。 ・マンションの管理会社・管理組合にアプローチし、マンション単位での防災の取組状況や課題を把握し、ニーズに合った支援をしていくことで、マンションコミュニティの防災力を高める。 ・帰宅困難者を生み出さないため、企業等が自ら帰宅抑制や備蓄などの対策をとるよう働きかける。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）		
区内マンションと防災に関わる支援等のアクションにつながった回数 ⇒ R9年度末までに延べ200回以上		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
延べ174回	A	55回



11月23日（土・祝）には、「南海トラフ地震を前にマンション防災を考える」をテーマに講演会を開催しました。

講演会終了後には個別相談会も実施し、マンション関係者へ直接アプローチすることも出来ました。

今後も、災害への備えの大切さを広めていきます。

各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題2】安全・安心で快適に暮らせるまちづくり（その2）		
2-2 防犯・環境浄化	6年度予算額	12,967千円
■ 課題認識		
2025大阪・関西万博の開催にあわせ、まちの環境美化にかかる区民の意識をより向上する必要がある。 区民の犯罪被害を防ぐための普及啓発に継続して取り組んでいく必要がある。		
■ 主な戦略(課題解決の方策)		
まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくり ・防犯キャンペーンを定期的に実施するとともに、広報紙やホームページ等で効果的な防犯啓発活動の情報発信を行う。 ・2025大阪・関西万博の開催の機運醸成とあわせ、地域や企業との協働によるまちの環境美化キャンペーンなど、まちを愛する多くの区民が参加するまちづくりに取り組む。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）		
まちの環境美化活動に参加したボランティアの数 ⇨ 延べ1,000人以上／年		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
1,129人	A	1,447人



5月19日(日)

戎橋筋商店街振興組合主催の戎橋橋洗いの記念写真です。約90人もの参加がありました。

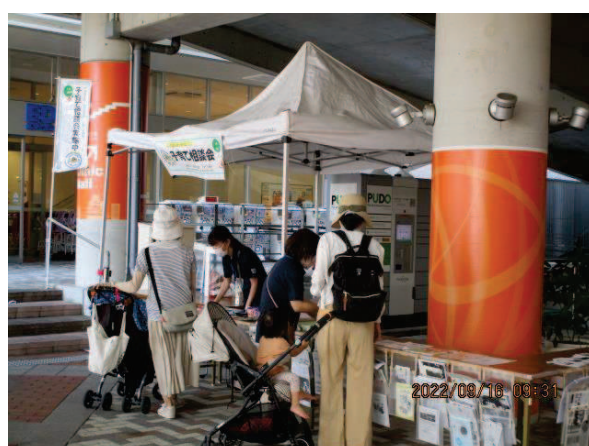
各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり（その1）		
3-1 子育て	6年度予算額	18,184千円
■ 課題認識		
児童虐待の懸念や子どもの貧困等、外からは見えにくい家庭内の課題を早期に見つけ支援につなげる必要がある。 保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう仲間づくりや気軽に相談できる場が必要である。		
■ 主な戦略（課題解決の方策）		
安心して子育てができる環境づくり ・ 重大な児童虐待を防止するため、地域の関係機関・団体とのネットワークの拡充により、子ども・子育て支援体制を強化し見守りや支援を要する子ども・世帯の早期発見・支援につなげる。 ・ 子育て世帯のニーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、こうした子育て支援情報の発信を強化する。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）		
区内保育施設等との連携により、新たに見守りや支援につながった子ども・世帯数：令和9年度末までに70件以上		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
182件	A	53件



区役所で毎月開催している子育てサークル「パンジーひろば」は、同年代の子どもを育てている者同士、情報交換をしたり、保育士や保健師に気軽に相談してもらえる場です。



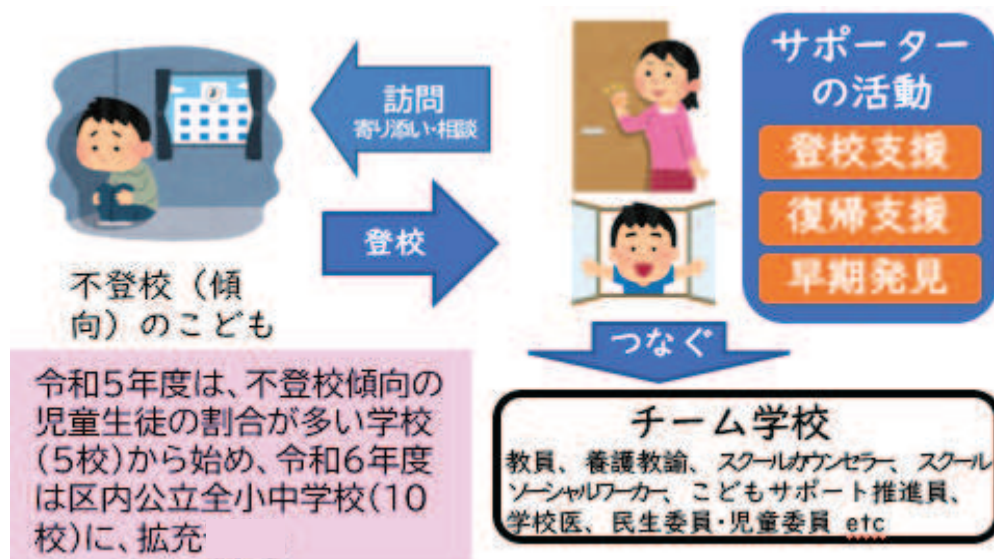
マンションの集会室でもパンジーひろばを開催しました。



9月12日（木）には、森ノ宮キューズモールで出張型子育て個別相談会を実施しました。

各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題3】 子どもの未来をみんなで育むまちづくり（その2）		
3-2 子どもの学び	6年度予算額	11,995千円
■ 課題認識		
子どもたちの学びを取り巻く環境は複雑化しており、新型コロナウイルス感染症を背景とした不登校児童生徒の増加等、学校園の実情に応じた学習環境づくりの支援が必要である。 区内では外国につながる児童生徒等が増加している。学習支援だけでなく、本人や保護者が地域で孤立しないようきめ細やかな支援が求められる。		
■ 主な戦略(課題解決の方策)		
子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり ・区の子どもたちを取り巻く課題や学校園のニーズに応じた学びの支援に取り組む。とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に増加している不登校児童生徒の支援に重点的に取り組む。 ・外国につながる住民が社会を担い自分らしく活躍できるよう、外国につながる子どもや若者、子育て中の保護者に対し、それぞれのライフステージに応じた支援を行う。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）		
登校支援等を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合 ⇒ 令和9年度末までに50%以上		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
80%	A	70%

サポーターによる不登校児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援を区内公立全小中学校で実施



各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり（その1）		
4-1 地域コミュニティ	6年度予算額	84,725千円
■ 課題認識 これまで培われてきた豊かなコミュニティが今後もまちの礎となるよう、高齢化や参加者の減少など地域の事情に応じ、継続した支援が必要である。 地域とつながるきっかけが無い層・関心が薄い層が増えている。中央区の住民の9割以上がマンションに居住していること、価値観の多様化やライフスタイルの変化をふまえ、これまでとは違うより柔軟なつながりのあり方が求められている。		
■ 主な戦略（課題解決の方策） つながりふれあう豊かなコミュニティづくり ・引き続き、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を促進する。 ・マンションコミュニティへのアプローチから、地域活動全体への参加促進につなげるよう取り組む。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標） 区役所や地域とつながりができたマンションの数 ⇨ 令和9年度末までに延べ100棟以上		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
延べ54棟	A	32棟

地域の課題解決に向けた新たな取り組みを企画したい！

地活協を地域に知ってもらいたい！

地域の運営をお手伝いします！

中央区まちづくりセンター

【ところ】 中央区役所7階 中央区まちづくりセンター
 毎週月・木曜日 13:00～17:30
 時間外でもお問合わせ下さい。
 ☎06-4708-8183

【活動】 各地活協の活動やまちセンの取組みも発信中！

さまざまな活動を展開するあなたのまちの地域活動協議会。
 まちづくりセンターでは、「みんなが参加して、みんなで支える楽しい地域づくり」をめざして、地活協の活動をお手伝いしています。
 企画・会計・広報・参加など、これまで支えてこられた方も、これから関わってみようかなという方も、お気軽にご相談ください。

各経営課題の令和6年度の振り返り		
【経営課題4】 誰もが幸せに暮らせるまちづくり（その2）		
4-2 地域福祉	6年度予算額	21,461千円
■ 課題認識 ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう地域での居場所づくりや見守りなどの支援を広げるとともに、必要とする方はもとより、全ての区民にしっかりと周知していく必要がある。 ・健康寿命を延ばすとともに、医療や介護が必要となっても自宅で暮らしていけるよう地域包括ケアシステムの強化が必要である。 ・社会から孤立し支援につながらない、または複合的な課題を抱え支援が困難となる方が支援につながるよう行政機関・地域・区民が一体となって取り組む必要がある。		
■ 主な戦略（課題解決の方策） 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり ・見守り相談室や支援機関と地域が連携し、高齢者等の支援を必要とする人の把握に務め、見守り活動の充実を図る。 ・高齢者等の健康増進と介護予防活動などの支援に取り組むとともに、在宅高齢者福祉の機能強化・医療介護の連携強化を図る。 ・誰もが誰かを「気かけ、つながり、支え合える」まちとなるよう、見守りのしくみや高齢者支援等に関する情報発信を強化する。		
■ アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標） 地域福祉コーディネーターによる新たに見守りを行った人数 ⇨ 令和5年度実績以上		
■ アウトカム指標の達成状況（定量評価）		
6年度実績と達成状況	※A：達成 B：未達成	5年度実績
315人	A	261人



地域福祉コーディネーターによる見守り活動の様子。定期的な訪問や、配食サービスと併せた見守りなど、それぞれの方に応じた見守りを行っています。